

2024年度  
事業計画書

自：2024年4月 1日

至：2025年3月31日

公益財団法人 三康文化研究所

# 目 次

1. 公 開 講 座
2. 研 究 座 談 会
3. 研 究 会
4. 研究冊子の刊行
5. 学 会 参 加
6. 附 属 図 書 館
7. 収益事業(建物賃貸業)

## 1、公開講座(オンライン、および会場開催)

### ① 公開講座 年2～3回

在室研究員が講師となり、研究に関心のある方を対象に開催する。

※テレビ会議システム(zoom)と会場(閲覧室)にて開催する。

## 2、研究座談会

### ① 研究座談会 年1～2回

在室研究員が中心となり、これを開催する。

## 3、研究会(オンライン、および会場開催)

(会名下の( )内は、在室研究員による担当者を示す)

### ① 原典研究会(西村実則・古宇田亮修) 年6回

梵本・パーリ本の仏典を中心に対比較合輪読。

梵本『ニダーナサンユクタ』、『雑阿含経』の研究。

### ② 日本仏教史研究会(宇高良哲) 年10回

日本仏教史に関わる基礎的文献の調査と整理と検討。

川越蓮馨寺日鑑の解説作業。

### ③ 浄土教典籍研究会(林田康順・柴田泰山・石川琢道) 年6回

了誉聖問『顕浄土伝戒論』の研究・輪読。

## 4、研究冊子の刊行

### ① 年報の刊行

第55号 A5判・約150頁

300部・年1回

### ② 所報の刊行

第59号 A5判・約50頁

200部・年1回

## 5、学会参加 1学会あたり年1回参加(オンラインでの参加も含む)

関係大学・団体の主催する学会に在室研究員参加

## 6、附属図書館

### ① 管理

蔵書を適切に保管し、利用者に提供するために書庫および資料管理を行う。

#### ○書庫環境管理

年間を通じた温湿度の測定と空調管理

年2回の書庫内清掃の実施

#### ○カビ・虫害対策

委託業者によるIPM(Integrated Pest Management 総合的病虫害管理)の実施

(2ヶ月後に点検し状況に応じて対応する)

資料のデータ入力時における資料清掃の実施

○劣化資料保存対策

酸性紙の酸化による劣化防止対策の実施(委託業者による脱酸処理)

資料の修復・修理(委託業者による破損資料の修復・修理)

職員による資料の補修並びに保護処置(資料のデータ入力時および閲覧出納時)

② 新規資料の受入と公開

宗教、哲学、旧大橋図書館の蔵書に関する欠本資料を選書し、購入するとともに、他機関(図書館、大学、研究所等)刊行物と三康文化研究所刊行物との寄贈交換等により資料を収集する。また、受入資料はデータ入力後、速やかにインターネットで検索できるようにする。

③ 蔵書資料のデータおよびデジタル画像データ作成とインターネット公開

当館では新規受入資料の他に、旧大橋図書館の蔵書や各種文庫等の資料を所蔵している。

これらの資料についてデータを作成し、インターネット公開し、検索できるようにしている。現在インターネットで検索できる資料は全体の46%である。これらのデータは、2023年3月から「国立国会図書館サーチ」(「⑥他機関との連携」参照)にも提供し、当該システムで検索が可能になったため、新たな利用者が創造されるようになった。

また、本来は検索手段がない分野の自然科学、工学資料データ作成を優先すべきであるが、これらの分野よりも、文学、国書、地理地誌分野の資料利用のニーズが高いため、当該分野の冊子体目録記載情報のデータを作成し、当館の蔵書検索(ライブファインダー・ウェブ(OPAC))、および「国立国会図書館サーチ」で検索出来るようにする。今年度もデータ作成作業を継続して実施する。

データ作成予定分野、データ公開状況は次の通りである。

(イ) データ作成予定分野

○現在検索手段がない分野

旧大橋図書館の蔵書

自然科学、工学

湯山文庫の外国語資料の一部

○冊子体目録で資料を探す分野

旧大橋図書館の蔵書

地理地誌、文学、欧文書、国書、漢籍

三康図書館設立以降の蔵書

内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

○書名五十音リストで資料を探す分野

旧大橋図書館蔵書

歴史、伝記、語学、教育

○カード目録で資料を探す分野

三康図書館設立(1964年)以降の蔵書

2001年度以前の受入図書

竹田宮家文庫

(ロ) 現在ホームページで蔵書検索が可能な分野

○ライブファインダー・ウェブ(OPAC)による蔵書検索

旧大橋図書館蔵書

総記、哲学・宗教、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、産業、芸術、児童書、総記の一部、宗教・哲学の一部、工学の一部、憲秩素本

三康図書館設立以降の蔵書

2001年度以降受入図書、雑誌、同人誌、湯山文庫雑誌、湯山文庫日本語・外国語図書の一部、椎尾文庫

○書名五十音リストによる蔵書検索

旧大橋図書館蔵書

歴史、伝記、語学、教育

(ハ) 蔵書資料のデジタル画像データ作成および公開

- 古典籍（江戸時代の版本・写本）および明治時代以降の書翰類等のデジタル画像データを当館ホームページで公開を進める。

(ニ) 今年度作業計画

- 旧大橋図書館資料のデータ入力、および蔵書検索「ライブファインダー・ウェブ」へのデータ投入と公開(国書(2024年度終了予定)、地理地誌(2025年度終了予定)、自然科学(2026年度終了予定))
- 2021年11月1日寄贈された椎尾弁匡旧蔵資料の整理と基礎調査(2024年度終了予定)、データ入力および目録作成(基礎調査終了後実施予定)
- 湯山文庫外国語資料のデータ入力、および蔵書検索「ライブファインダー・ウェブ」、へのデータ投入と公開(作業終了時期については未定)

④ 利用者へのサービス

(イ) インターネットにおける情報発信、蔵書検索(OPAC)の充実

- ホームページ、Facebook(フェイスブック)、X(旧Twitter(ツイッター))の運用の充実
- VR(バーチャルリアリティ)を利用した書庫・蔵書紹介
- マスコミ等を利用した情報発信

(ロ) その他

- 利用者への書庫案内
- ロビーにおける「ミニ展示」(展示ケース使用)、閲覧室における「蔵書紹介」(ディスプレイラック使用)、「特集展示コーナー」(西側書架使用)による所蔵資料の紹介
- 閲覧室における「研究員オススメコーナー」(所蔵資料の紹介)
- 「レファレンス協同データベース」(レファレンス事例データベース)(国会図書館運営)におけるレファレンス事例、および資料の調べ方マニュアルの作成と公開
- 外部イベント(図書館総合展など)への参加、および外部機関における講演などの広報

⑤ 講演会の開催

蔵書周知に繋がる講演会を、テレビ会議室システム(Zoom)およびYouTubeを使用して広く

参加者を募るとともに、会場参加も可能なハイブリッド形式にて開催する。

⑥他機関との連携

- 当館所蔵古典籍資料(江戸時代の版本・写本)デジタル画像データを国文学研究資料館の「新日本古典籍データベース」にて公開。(但し、国文学研究資料館が新たに当館所蔵資料について、デジタル画像データを作成し公開する事業は、2023年度で終了)
- 国立国会図書館サーチ(令和4(2022)年12月16日連携開始)への所蔵データ提供
- 港区内の専門図書館および港区立図書館を中心とした全国各地の他機関との連携

7、収益事業(建物賃貸業)

2階の一部を賃貸する

- ①宗教法人増上寺へ貸事務所として
- ②公益財団法人全日本仏教会へ会議室として

2024年度の事業計画は以上の通りです。

2024年2月19日

公益財団法人 三 康 文 化 研 究 所

理 事 長 小 澤 憲 珠